

専門教科「情報」学習指導案

1. 日 時 令和 ● 年 ● 月 ● 日 (●) 第 ● 時限
2. 場 所 LAN教室
3. 学年・組 第2学年 選択クラス (● 名)
4. 科目・単元(題材)名 「コンテンツの制作と発信」(2単位)
・「地元をPRする旅行プランを計画しよう」をテーマにした広報コンテンツの制作
5. 単元(題材)の目標
 - (1) 【知識及び技術】
 - ・コンテンツの制作と発信について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
 - (2) 【思考力、判断力、表現力等】
 - ・情報社会におけるコンテンツ制作と発信に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決することができる。
 - (3) 【学びに向かう力、人間性等】
 - ・情報社会で必要とされるコンテンツの創造をめざして自ら学び、コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に参画し、寄与することができる。
6. 教材観

「コンテンツの制作と発信」においては、メディアの特性を生かし、目的・場面・状況に応じた発信ができるようになることが重要である。本校では、「地元をPRする旅行プランを計画しよう」をテーマに、1学期は静止画のコンテンツを個人で制作し、2学期は動画のコンテンツをグループで制作し、3学期はそれらをもとに広報を行うというスケジュールで授業を進めている。

本実践では、1・2学期を通して制作してきたコンテンツを個人で改善した後、グループで1つのコンテンツを制作し、発信の提案を行う。
7. 生徒観
(省略)
8. 指導観

コンテンツ制作においては、制作前に企画書を作成させ、ペルソナ等の意識を徹底する。制作過程等を振り返りシートに記録し、生徒自身が学習状況を評価し、改善していくことの意義等を理解できるように教員が指導しながら進めていく。そのため、まずは計画書や企画書の内容等を明確化するとともに、随時見直していくサイクルを生徒に徹底する。

単にコンテンツを制作するだけでなく、相互に鑑賞し評価するなどの活動を通して、企画力・表現力などが向上するようにする。

年間を通したテーマで、複数の種類のコンテンツを制作し、その過程を「個人制作→グループ制作→評価・改善→グループ制作+発信の提案」という流れとすることで、制作したコンテンツを効果的に組み合わせるなどコンテンツを統合し、編集できるようにする。

9. 単元（題材）の評価規準

知識・技術【a】	思考・判断・表現【b】	主体的に学習に取り組む態度【c】
1. コンテンツの種類や特性と、それらの役割・影響を理解している。 2. コンテンツ制作に必要なアプリケーションソフトウェアの操作技術を身に付けている。 3. コンテンツの保護について理解しているとともに、情報の保護技術を身に付けている。	1. 適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。 2. 自他のコンテンツを客観的に評価している。 3. 相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。	1. メディアの特性を活かし、伝えたい内容に応じてコンテンツを組み合わせようとしている。 2. 他者のコンテンツを認め、自分のコンテンツを評価・改善しようとしている。 3. 目的に応じたコンテンツを発信しようとしている。

※「思考・判断・表現」の観点別学習状況の評価については、生徒自身の評価・改善について振り返りシート等を用いて定期的に形成的評価を行う。「努力を要する状況」と判断されそうな生徒に対する指導のてだてとして、授業内にクラス全体に「客観的に評価するためのポイント」を声掛け後、個別に声掛け指導等を行いながら、単元終了時の振り返り等をもって総括的評価を行う。

○：総括的評価（記録に残す評価）
 ●：形成的評価（指導に生かす評価）

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全12時間）

時	学習内容・学習活動	評価の観点			評価規準【観点】 (評価方法等)
		a	b	c	
第1時	☆1・2学期の自他のコンテンツを評価し、改善に向けて「コンテンツ改善計画書」を作成 (※改善すべき箇所はすべて挙げ、その中で優先的かつ2時間で改善できる箇所についての計画案を作成する。) ☆振り返りシート（学習過程や状況、気づきや本時のキーワード等）の入力 <u>以降、毎時</u>		●	●	【b】「コンテンツ改善計画書」 ②自他のコンテンツを客観的に評価している。 ③相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。 【c】「コンテンツ改善計画書」 「振り返りシート」 ②他者のコンテンツを認め、自分のコンテンツを評価・改善しようとしている。 ③目的に応じたコンテンツを発信しようとしている。
第2時	☆1・2学期のコンテンツを個人で改善する。 ※改善計画書において、計画の変更や追加があれば随時追記する。	●	●	●	【a】 「授業中の見取り」及び「振り返りシート」 ①コンテンツの種類や特性と、それらの役割・影響を理解している。 ②コンテンツ制作に必要なアプリケーションソフトウェアの操作技術を身に付けている。 ③コンテンツの保護について理解しているとともに、情報の保護技術を身に付けている。 【b】 「授業中の見取り」及び「振り返りシート」 ①適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。 ③相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。

					<p>[c] 「授業中の見取り」及び「振り返りシート」</p> <p>①メディアの特性を活かし、伝えたい内容に応じてコンテンツを組み合わせようとしている。</p> <p>③目的に応じたコンテンツを発信しようとしている。</p>
第3時	☆グループで制作するコンテンツ (Web ページを中心にした) について協議し、企画書を作成する。		●	●	<p>[b] 「コンテンツ企画書」</p> <p>①適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。</p> <p>③相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。</p> <p>[c] 「コンテンツ企画書」</p> <p>①メディアの特性を活かし、伝えたい内容に応じてコンテンツを組み合わせようとしている。</p> <p>③目的に応じたコンテンツを発信しようとしている。</p>
第4時 (本時)	<p>☆グループで企画書に基づきコンテンツ制作に取り組む。</p> <p>※前時に作成した企画書を確認し、グループで意識を共有する。</p> <p>※企画書において、計画の変更や追加があれば即時追記する。変更する場合も変更箇所は消さずに、取り消し線を使い、見え消しにして、制作過程を可視化する。</p> <p>※振り返りでは、各自及びグループの成果 (本時で何がどこまで出来たか、何か新しく取り入れたことなど) を振り返るとともに、企画書に基づいて進捗状況や次の時間からの流れを確認する。</p>	●	●	●	<p>[a] 「授業中の見取り」及び「振り返りシート」</p> <p>①コンテンツの種類や特性と、それらの役割・影響を理解している。</p> <p>②コンテンツ制作に必要なアプリケーションソフトウェアの操作技術を身に付けている。</p> <p>③コンテンツの保護について理解しているとともに、情報の保護技術を身に付けている。</p> <p>[b] 「授業中の見取り」及び「振り返りシート」</p> <p>①適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。</p> <p>③相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。</p> <p>[c] 「授業中の見取り」及び「振り返りシート」</p> <p>①メディアの特性を活かし、伝えたい内容に応じてコンテンツを組み合わせようとしている。</p> <p>③目的に応じたコンテンツを発信しようとしている。</p>
第5時 ～ 第9時	☆グループで企画書に基づきコンテンツ完成に向けて取り組む。 (※基本的に第4時の取組みの繰り返し)	●	●	●	※第4時と同じ

第10時	<p>☆発表リハーサル ※制作したコンテンツの広報場面を想定したプレゼンテーションのためのリハーサルを行う。</p> <p>☆コンテンツの調整・提出 ※リハーサルをふまえてコンテンツを調整し、提出する。</p>		●	●	<p>[b]「リハーサル」「コンテンツ」 ①適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。 ②自他のコンテンツを客観的に評価している。 ③相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。</p> <p>[c]「コンテンツ企画書」 ①メディアの特性を活かし、伝えたい内容に応じてコンテンツを組み合わせようとしている。 ②他者のコンテンツを認め、自分のコンテンツを評価・改善しようとしている。 ③目的に応じたコンテンツを発信しようとしている。</p>
第11時	<p>☆制作したコンテンツの広報場面を想定したプレゼンテーションをクラス全体に行う。</p> <p>☆それぞれのプレゼンテーションに対して、相互評価・自己評価を行う。</p>		○	●	<p>[b]「制作コンテンツ」 ①適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。 ②自他のコンテンツを客観的に評価している。 ③相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。</p> <p>[c]「発表」 ①メディアの特性を活かし、伝えたい内容に応じてコンテンツを組み合わせようとしている。 ②他者のコンテンツを認め、自分のコンテンツを評価し、改善しようとしている。 ③目的に応じたコンテンツを発信しようとしている。</p>
第12時	<p>☆確認テスト</p> <p>☆相互評価・自己評価をふまえて改善についてグループで協議し、改善案を作成する。(改善点については理由も含めて入力する)</p> <p>☆コンテンツを改善する。</p>	○	○	○	<p>[a]「確認テスト」 「制作コンテンツ (改善後)」 ①コンテンツの制作と発信について体系的・系統的に理解している。 ②コンテンツ制作に必要なアプリケーションソフトウェアの操作技術を身に付けている。 ③コンテンツの保護について理解している。</p> <p>[b]「改善案」 「制作コンテンツ (改善後)」 ①適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。 ②自他のコンテンツを客観的に評価している。 ③相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。</p> <p>[c]「制作コンテンツ (改善後)」</p>

					<p>「振り返りシート」</p> <p>①メディアの特性を活かし、伝えたい内容に応じてコンテンツを組み合わせようとしている。</p> <p>②他者のコンテンツを認め、自分のコンテンツを評価・改善しようとしている。</p> <p>③目的に応じたコンテンツを発信しようとしている。</p>
--	--	--	--	--	--

11. 本時（第4時）の展開

(1) 本時の目標

【知識及び技術】

- ・コンテンツの種類や特性と、それらの役割・影響を理解し、コンテンツ制作に必要なアプリケーションソフトウェアにおける知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・適切なアプリケーションソフトウェアを選択し、コンテンツ制作を通じて、相手に伝えたい内容や思いを伝える表現力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・メディアの特性を活かし、目的や伝えたい内容に応じてコンテンツを組み合わせるとともに、コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に取り組む。

(2) 本時の評価規準

【a】

- ・コンテンツの種類や特性と、それらの役割・影響を理解し、コンテンツ制作に必要なアプリケーションソフトウェアの操作技術を身に付けている。

【b】

- ・適切なアプリケーションソフトウェアを選択し、相手に伝えたい内容をコンテンツに反映している。

【c】

- ・メディアの特性を活かし、目的や伝えたい内容に応じてコンテンツの組み合わせを工夫し、コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

(3) 本時の準備物

- ・第3時で作成した企画書
- ・振り返りシート
- ・デスクトップPC [LAN教室]
- ・1人1台端末

(4) 本時の学習過程

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法等)
導入 10分	前時に作成した企画書（役割分担や制作全体の流れ、本日の予定等）の確認をする。 （※各グループ内で確認〔3分〕後、各グループから全体に1分程度で口頭報告）	最終目標を示し、すべきことの共通認識をもたせ、役割分担（自分のこと）及び全体の流れを見ることがの大事さを伝える。	
展開 35分	協働作業によりコンテンツを制作する。	使用するアプリなどは制限せず、制作するコンテンツのアイテムに応じてアプリケーションやパソコン・1人1台端末を切り替えるなど工夫できることを説明する。	<p>【a】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンテンツの種類や特性と、それらの役割・影響を理解している。 ●コンテンツ制作に必要なアプリケーションソフトウェアの操

	<p>企画書を確認しながら作業を進める。計画の変更や追加があれば随時追記する。</p> <p>企画書を確認しながら作業を進めることを徹底する。計画の変更や追加があれば随時追記させるが、変更等の理由も必ず言語化させる。</p>	<p>コンテンツの保護や著作権等についても適宜指導する。</p> <p>目的や場面、状況を意識できているかを確認し、意識付けを定着させる。</p>	<p>作技術を身に付けている。</p> <p>【b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。 ●相手に伝えたい内容コンテンツに反映している。 <p>【c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
<p>まとめ 5分</p>	<p>振り返りシートを入力</p> <p>※個人及びグループの本日の成果（本時で何がどこまで出来たか、何か新しく取り入れたことなど）と課題・改善点等をまとめる。</p> <p>次回の計画を立てる</p> <p>※進捗状況から期限内で完成するための計画を立てる。</p> <p>※必要に応じて、コンテンツ自体の見直しも検討する。</p>		<p>【b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適切なアプリケーションソフトウェアを選択している。 <p>【c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メディアの特性を活かし、目的や伝えたい内容に応じてコンテンツの組み合わせを工夫しようとしている。 ●コンテンツの制作と発信に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。